「イスラームは５つのものの上に成立する

「イスラームは５つのものの上に成立する：アッラー以外に崇拝すべきいかなるものもない、ムハンマドはかれのしもべであり、使徒であるという証言。礼拝の遵守。喜捨の支払い。館へのハッジ。ラマダーンの断食。」 [صحيح] [رواه البخاري ومسلم]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）はイスラームを、５本の柱に支えられた強固な建築物のようなものであり、それ以外のイスラームの特質は、その建築物を補完するようなものである、と例えている。 １番目の柱：２つのシャハーダ（信仰証言）。アッラーの他に崇拝すべきものはなく、ムハンマドはアッラーの使徒であるという証言のこと。この２つが互いに離れることのない、一つの柱を成している。ムスリムはアッラーの唯一性と、アッラーこそが崇拝に値する存在であり、他のいかなるものもそれには相応しくないことを認めつつこの言葉を証言し、それが要求するところのものに則って行い、預言者ムハンマド（アッラーからの祝福と平安あれ）のメッセージを信じ、彼に従うのである。 ２番目の柱：昼夜に行われる１日５回のサラーを遵守すること。それはファジュル、ズフル、アスル、マグリブ、イシャーのことであり、それらをその条件、根幹、義務を守りながら行うことである。 ３番目の柱：義務のザカー（浄財）。これはイスラーム法において定められた特定の額に達する財産に義務付けられ、その受給資格者へと支払われる、財産による崇拝行為である。 ４番目の柱：アッラーを崇拝するために、一連の宗教儀礼を行うためマッカを目指すハッジ巡礼のこと。 ５番目の柱：ラマダー ンのサウム（断食）のこと。これはアッラーを崇拝することを意図して、ファジュルからマグリブまで、飲食などサウムを無効にする物事を慎むことである。

https://sunnah.global/hadeeth/ja/show/66512